

平成23年台風12号被害に関する九州地方整備局の取り組み (第4報)

～緊急災害対策派遣隊(TEC-^{テック}FOR^{フォース}CE)の派遣等について～

平成23年9月12日 18:00現在

1. 概要

平成23年台風第12号に伴う大雨(8月30日～9月5日)により、紀伊半島を中心に洪水氾濫、土砂崩れなどが発生し、大きな被害が発生していることから、九州地方整備局では、第4陣として9月11日にTEC-FORCE隊員3名(道路の被災状況調査等)を派遣しました。また、第5陣として、明日9月13日に河川の被災状況等を実施するため、TEC-FORCE隊員9名を被災地に向けて新たに派遣します。

【九州地方整備局からの派遣】

出発時間：平成23年9月13日(火)9時30分

ヒガシムロ

派遣先：和歌山県東牟婁振興局(新宮市)等

隊員：これまでも各地の被災地に派遣され高いスキルを培っている職員を9名派遣

活動内容：和歌山県内の河川の被災状況等を実施

～派遣状況～

【人的派遣】

- 9月8日 15名(河川の被災状況調査等)
- 9月9日 12名(道路の被災状況調査等)
- 9月9日 2名(現地被災状況調査班への調整・指示等)
- 9月11日 3名(道路の被災状況調査等)
- 9月13日 9名(河川の被災状況調査等)

【機材等の派遣】 ※いずれも現在、近畿地方に派遣中

- 9月5日 災害対策用ヘリコプター(はるかぜ)
- 9月9日 排水ポンプ車 1台(150m³/分)
- 衛星通信車 1台
- Ku-SAT 2台
- 排水ポンプ車 2台(高揚程型30m³/分)

【全国の派遣状況(参考)】

- TEC-FORCE 9月4日～ のべ1,048名(9月11日14時現在)
- リエゾン 9月4日～ のべ226名(9月11日14時現在)
- 災害対策用ヘリコプター 9月4日～ 計5機(9月11日14時現在)

凡例	
●	派遣済
□	今回派遣予定

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 応援対策本部
企画部 企画課長補佐 大波多(おおはた) 昌志
電話:092-414-7301(本部直通)
FAX:092-481-9210(本部直通)

【参 考】

緊急災害対策派遣隊（^{テック}TEC-^{フォース}FORCE）とは

■目 的

TEC-FORCEとは、大規模自然災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、被災地方公共団体等が行う、被災状況の迅速な把握、被害の発生及び拡大の防止、被災地の早期復旧その他災害応急対策に関する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施することを目的としたものです。

■主な任務

被災地方公共団体等が行う災害応急対策に対する技術的な支援を行います。

- ①被災状況の迅速な把握
- ②被害の発生及び拡大の防止
- ③被災地の早期復旧

災害対策現地情報連絡員（リエゾン）とは

リエゾン派遣は、自治体が災害対応に追われ、整備局との間で十分な連絡・連携が出来ない場合、連絡窓口として整備局職員を直接自治体へ派遣し、整備局・自治体相互の情報共有や、TEC-FORCEやヘリコプター・照明車等の災害対策用機械等の自治体への応援派遣に係る調整、災害復旧等の支援に関する自治体からの相談受付・整備局への伝達等を行い、迅速かつ的確な災害対策及び災害支援に資することを目的としています。

※リエゾンとはフランス語で連絡・連携や橋渡し、繋ぐといった意味。